

2026年2月4日（水）

## 『 地区国際奉仕委員会の活動について 』

国際ロータリー第 2630 地区国際奉仕委員会  
委員長 野地 俊行 様  
(熊野ロータリークラブ)

皆さん、こんにちは。今日は会場に出席させていただく予定でしたが、事故がありまして急遽 ZOOM 会議での卓話となりましたがよろしくお祈りします。

今日の卓話の内容は、「地区国際奉仕委員会の活動」についてです。



1. 最初に国際奉仕の目的ですが、「他国のの人々と交流し、文化、習慣、問題を知ることを通して、国際理解、親善、平和を推進すること」です。
2. 次に国際奉仕を実践する上で考えるべきことですが、国際奉仕は基本的に海外の国に奉仕することです。海外の実態が分からない私たちにとって大事なことは他国のロータリアンと交流し、友情と FELLOWSHIP の構築をすることです。そして、その国の奉仕活動に参加することにより、奉仕の相手だけではなく奉仕をした自分の心も満たされることが、本来の奉仕だと考えます。そして、その活動を通して、ロータリーが成長し、より多くの国際社会へ貢献ができるようになると思います。
3. 次に、委員会の役割ですが、2つあります。  
1つ目は各クラブからの DCS の申請書の審査と国際奉仕の活性化の支援。  
2つ目は当委員会主体で活動している「グローバル補助金事業の推進」です。グローバル補助金事業は TRF が推奨している国際奉仕で、TRF の補助金も含まれており資金的にインパクトの大きな奉仕です。
4. 当委員会は、組織的には奉仕プロジェクト委員会に所属しており 6 名のメンバーで構成されています。
5. グローバル補助金事業対象国ですが、当委員会は今までタイ国に対し奉仕活動を行ってきました。今後は対象国を広げた活動をしていきたいと考えております。そこで、ロータリーのタイ地区の組織及び、東南アジアの各国の豊かさを示す一人当たりの GDP を考慮し、今後はタイ国だけでなく、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーの 5 ヶ国を対象に、グローバル補助金事業を進めていきます。
6. 次に、グローバル補助金事業の活動結果についてです。  
委員会は過去 7 年間にタイ国に対して 9 件のグローバル補助金事業を実施しており、一件の平均奉仕金額は約一千万円で、重点分野別にはその半分は疾病予防と治療での奉仕です。これは世界のグローバル補助金の実績と比率的にはほぼ同じ 50% です。
7. 最後になりますが、今、進行している今年度のグローバル補助金事業は、ベトナムのダナンロータリークラブと、18 歳になると施設を出なければならぬ孤児や身体障害者を含む貧しい人たちに職業訓練を無償で提供し、これらの人々が自立できるようにするプロジェクトです。概要は、対象者最大 100 人、予算約 700 万円で、資金調達先は、2630 地区とホノルルの地区 5000 で現在 TRF への承認願いをしています。当委員会は今後ともこのグローバル補助金事業活動を通して、国際社会への貢献、国際理解、親善、平和の推進を継続してまいりますので、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。